

令和 7 年度沖縄県総合福祉センター指定管理者制度運用委員会における
モニタリングの検証結果について（令和 6 年度実績分）

1. 施設名：沖縄県総合福祉センター
2. 開催日時：令和 7 年 7 月 15 日
3. 開催場所：沖縄県総合福祉センター
4. 出席者：委員 5 人中 5 人出席
（会 長）島袋 裕美
（委 員）比嘉 孝明
（委 員）蔵当 三紀夫
（副会長）島袋 奈津子
（委 員）尾尻 孝子
（事務局）沖縄県生活福祉部 福祉政策課
（指定管理者）社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会
5. 検証事項：沖縄県総合福祉センターの令和 6 年度実績に係るモニタリング
の実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
施設の管理運営は概ね適切になされている
9. 主な質疑・意見
別添議事概要のとおり
10. 会議の公開状況：公開

資料 1

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県総合福祉センター	対象年度	令和6年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務	1
(1) 清掃	
(2) 保守・点検	
(3) 保安・警備	
(4) 小規模修繕	
(5) 備品購入	
(6) 防犯・防災対策	
(7) 料金徴収業務	
2. 運營業務	3
(1) 利用実績	
1) 利用者数等（又は入居率等）	
2) 施設稼働率	
(2) 運営企画	
(3) 受付・接客	
(4) 広報	
(5) 情報管理	
3. 自主事業	5

II. サービスの質の確認・評価 6

III. 財務状況の確認・評価 8

1. 事業収支	
(1) 収入	
(2) 支出	
2. 経営分析指標	

IV. 総合評価 10

1. 目標	
2. 評価結果	

附表 経営状況分析シート 11

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県総合福祉センター		対象年度	令和6年度
指定管理者	社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 指定管理期間：令和7年4月～令和12年3月		所管課	生活福祉部 福祉政策課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉		○	清掃業務委託仕様書通りに業務を完了	日報等を確認したところ、仕様書のとおり適正に行われていた。	適正	今後も適正な施設の衛生維持に努める
〈定期清掃〉		○	清掃業務委託仕様書通りに業務を完了	日報等を確認したところ、仕様書のとおり適正に行われていた。	適正	今後も適正な施設の衛生維持に努める

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設維持管理体制の整備		○	施設維持管理業務年間計画書通りに業務を完了	日報等を確認したところ、仕様書のとおり適正に行われていた。	適正	今後も適正な保守点検に努める

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
警備保安体制の整備		○	保安警備業務委託仕様書通りに業務を完了	日報等を確認したところ、仕様書のとおり適正に行われていた。	適正	今後も適正な保安警備に努める

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設機能の維持管理	○	○	設備機器等14箇所の小規模修繕を実施	修繕に関する書類、及び修繕箇所の現物を確認したところ、適正に実施されていた。	適正	今後も適正な維持管理に努める

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設機能の維持管理	○		①煙感知器6個 ②多機能電話機5台 ③ポータブルPAシステム1台 ④ワイヤレスシステム2台	備品の現物を確認	適正	今後も適正な維持管理に努める

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(防犯) 防犯体制の整備 (防災) 自主防災組織の編成 自営消防訓練の実施	○	○	(防犯) 保安警備業務委託 仕様書通りに業務を完了 (防災) 消防訓練(年2回)の実施	(防犯) 警備日誌及び委託契約書、仕様書を確認にしたところ適正に実施していた。 (防災) 消防訓練(年2回)の実施を確認	適正	今後も適正な防犯・防災対策に努める。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
適正な利用料金の徴収・管理	○		沖縄県総合福祉センターの設置及び管理に関する条例、条例施行規則及び沖縄県総合福祉センター管理に関する要綱に基づき業務を行った。	利用料金の管理に関して、施設管理システムを利用していることを確認。 現金徴収については領収額と現金の照合を実施していることを確認。	適正	今後も条例・規則・要綱に基づき、適正な料金徴収や減免処理を行う。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	施設の安全確保及び衛生維持のため、引き続き適正な維持管理業務に取り組む。
--------------------	--------------------------------------

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和5年度実績	事業計画 (目標値)	令和6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	0	0	0	—	—	様々な団体の利用 が広がり全ての部 屋において増加し ている。 今後もセンターの 利用について広報 を行うとともに、利 用者の要望に対 し、適正に対応し ていく。
	団体利用者数	200,934	202,943	220,788	110%	109%	
	<内訳>						
	大規模集会等 (ゆいホール)	42,107	28,704	44,885	106.6%	156.4%	
	会議室 (視聴覚室含 む)	57,040	48,755	61,708	108.2%	126.6%	
	研修室 (401～403)	37,490	25,500	39,613	105.7%	155.3%	
	教室 (介護実習室含 む)	45,064	34,047	50,147	111.3%	147.3%	
	展示室等 (ロビー・アルコープ)	18,103	15,969	22,945	126.7%	143.7%	
	結プラザ	1,130	2,302	1,490	131.9%	64.7%	
計		200,934	155,277	220,788	109.9%	142.2%	

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

評価(①利用状況)

S

2) 施設稼働率

	R5年度実績	事業計画 (目標値)	R6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
大規模集会等(ゆいホール)	74.2	68.0	73.1	98.5%	107.5%	昨年度に引き続き、生活福祉資金特例貸付事業の実施のため、第5～7会議室を継続して貸し出している。 今後もセンターの利用について広報を行うとともに、利用者の要望に対し、適正に対応していく。
会議室(視聴覚室含む)	85.0	75.9	85.8	100.9%	113.0%	
研修室(401～403)	80.9	76.8	79.3	98.0%	103.3%	
教室(介護実習室含む)	53.6	54.2	53.8	100.4%	99.3%	
展示室等 (ロビー・アルコープ)	97.1	79.6	97.7	100.6%	122.7%	
結プラザ	4.2	6.7	2.9	69.0%	43.3%	
平均稼働率	65.8	60.2	65.4	99.4%	108.6%	

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

評価(①利用状況)

A

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉308日	323日 (うち日曜開館15日)	施設利用管理システムの使用を確認。 利用者の要望に応じて県の許可を得て日曜開館を行っている。	適正	利用者のニーズに合わせて日曜開館を検討するが、本施設の安全性や利便性を高めるため、設備等のメンテナンスは急務であるので、休館日を確保する必要がある。
〈開館時間〉 平日・土曜・祝祭日：9時～21時 日曜：9時～17時	平日・土曜・祝祭日：9時～21時 日曜：9時～17時	施設利用管理システム、警備日誌を確認。	適正	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者等の意見・要望に対して迅速な対応を図る	○		館内設置の意見箱等により、利用者からの意見収集を行う	意見箱、アンケートの対応状況を確認。	適正	電話・窓口・意見箱等での要望、アンケート等から利用者の意見・要望を反省させ、より良い対応を図る。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
広報活動を通し、施設の利用促進を図る	○		ホームページの充実。広報誌、パンフレットの活用	ホームページに関しては、施設空き状況やアンケートの結果が確認できるようになっている等、利便性が図られている。 パンフレットにより利用案内を行っている。	適正	今後も広報を充実させ、センターの利用促進につなげる。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
受付管理システムにおける適正管理	○		センター利用申請者情報等を受付管理システム(専用に構築)で適正に管理している	申請書等の書類はファイルで適正に管理している。 また、センターホームページへの情報掲載についても、申請者に公開の有無を確認している。	適正	今後も利用者情報等を適正に管理していく。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
こいのぼり掲揚式	○		4月16日、結プラザにて実施。本センター周辺の保育園の園児や保育士、地域住民、本会及び入居団体職員、約150名が参加。センター内で保育園児のこいのぼりの作品を展示。	報告書等、及び聞き取りにて確認。	適正	入居団体の意向をふまえながら、自主事業を実施していく。 今後も、近隣福祉施設・事業所自治会等と連携し、自主事業の周知や参加について呼びかけを行う。
七夕展示会	○		7月2日～7月15日の期間、中央玄関付近にて実施	報告書等、及び聞き取りにて確認。		
新春懇談会	○		1月6日、ゆいホールにて実施。本センター入居団体や周辺施設などの関係者約150名が参加。	報告書等、及び聞き取りにて確認。		
車いす貸出し	○		急な怪我や社内研修などで車いすを必要とされる県内外の利用者への車いす貸出し 利用件数:92件、 台数:133台	報告書等、及び聞き取りにて確認。		
消防訓練(年2回)	○		6月10日と11月11日に消防訓練(119番通報・初期消火・避難誘導・負傷者搬送等の避難活動)を行った	報告書等、及び聞き取りにて確認。		
ハラスメント講習会	○		3月12日、入居団体職員や周辺施設職員等48名参加	報告書等、及び聞き取りにて確認。		
メンタルヘルス講習会	○		3月14日、入居団体職員や周辺施設職員37名参加	報告書等、及び聞き取りにて確認。		
救急法講習会	○		10月16日、入居団体職員や周辺施設職員20名参加	報告書等、及び聞き取りにて確認。		

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	令和6年度は施設稼働率は前年度とほぼ変わらないが、利用者数については増加しており、適正に運営できている。 施設稼働率の向上のため、ホームページや広報誌、パンフレットなどを活用し、広報の充実に取り組む。 特にホームページは古い情報等が掲載されているため、最新情報に更新していく。 また、インターネット環境整備を行ったため、オンラインを活用した会議・研修会等の対応ができることも併せて広報する。
-----------------------------	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入する。

沖縄県総合福祉センター利用者数の推移(参考)

	施設名	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(参考) R3～R5平均
1	多目的ホール	13,408	14,472	29,533	42,107	44,885	28,704
2	第1会議室(小)	3,890	2,748	4,160	5,980	7,829	4,296
3	第2会議室(小)	3,422	2,376	3,981	6,329	7,367	4,228
4	第3会議室(小)	2,913	1,950	3,837	6,001	7,416	3,929
5	第5会議室(小)	10,339	10,770	9,960	10,800	10,770	10,510
6	第6会議室(小)	10,387	10,770	9,930	10,800	10,770	10,500
7	第7会議室	11,102	10,770	9,960	10,800	10,770	10,510
	会議室小計	42,053	39,384	41,828	50,710	54,922	43,974
8	401研修室(中)	5,211	3,990	7,598	11,775	12,312	7,787
9	402研修室(中)	4,089	3,442	7,322	10,527	11,929	7,097
10	403研修室(大)	10,166	6,362	10,300	15,188	15,372	10,616
	研修室小計	19,466	13,794	25,220	37,490	39,613	25,501
11	視聴覚教室	3,768	3,558	4,455	6,330	6,786	4,781
12	501教室(大)	10,232	6,229	12,180	13,968	14,301	10,792
13	502教室(小)	3,747	2,921	7,153	10,112	9,169	6,728
14	503教室(小)	3,036	2,891	6,569	7,824	8,472	5,761
15	504教室(小)	2,411	2,220	5,570	4,768	7,661	4,186
16	506教室(交流室)	2,129	2,337	4,960	4,537	6,172	3,944
17	介護実習室	414	385	462	902	1,051	583
18	505教室(調理実習室)	800	1,001	2,207	2,953	3,321	2,053
19	ボランティア室		0	22	0	0	7
	教室小計	26,537	21,542	43,578	51,394	56,933	38,838
20	ロビー展示場	16,000	16,320	13,485	18,103	19,155	15,969
21	アルコープ展示場	730	0	0	0	3,790	0
	展示施設小計	16,730	16,320	13,485	18,103	22,945	15,969
22	結プラザ	360	392	5,386	1,130	1,490	2,302
	合計	118,554	105,904	159,030	200,934	220,788	155,289

※平均値は小計毎に小数点以下切り捨て

Ⅱ．サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		来場者やかりゆし長寿大学校の生徒に 対して、紙媒体やオンラインで実施		回答者数	62	アンケート内容	別紙参照
評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題
		令和5年度評価	令和6年度目標	令和6年度評価			
維持 管理 業務	施設・設備管 理	〈満足度〉97.4% ・満足 50.0% ・やや満足 47.4% ・やや不満 2.6% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 0.0%	〈満足度〉80%	〈満足度〉99.0% ・満足 58.0% ・やや満足 41.0% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 0.0%	S	(要望への対応) トイレは配管等の 問題があり、実施が できていない箇所で ある。今後の修繕希 望箇所として県と調 整が必要である。 エレベーター故障 した場合は、専門業 者と協力し早期修繕 できるよう努める。 (自己評価) 施設内環境では9 割の利用者に高評 価をいただいた。今 後とも環境保全に努 めていく。	施設・設備の故障等 には適切に対応し、利 用者の安全面・衛生面 の維持になお一層努め る。
				〈改善要望〉 ・福祉センターであるが、トイレが介 護者や高齢者に不便な気がする。 ウォシュレットがない等。 ・高齢者が多いので、階段はつらい。 現在は修理されているが、エレベ ーターが故障した場合は即修理してほ しい。			
運 営 業 務	接客対応	〈満足度〉100% ・満足 71.1% ・やや満足 28.9% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 0.0%	〈満足度〉60%	〈満足度〉83.7% ・満足 46.7% ・やや満足 37.0% ・やや不満 1.6% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 4.5%	S	(要望への対応) 利用者に丁寧かつ 十分な説明を行うよ う心がけ、挨拶やコ ミュニケーションを積 極的にとり、筆談な どの利用者の要望 に応じた対応ができ るなど、接客力の向 上に今後も努める。 (自己評価) 多くの利用者に高 評価をいただいた が、アンケート回答 数が少ないため、結 果に甘んじることな く、今後も接客対応 の強化に努める。	利用申込や問い合わせ 等、窓口での対応が多 いため、職員の接客 マナーの向上に努め る。
				〈改善要望〉 なし			
	施設・設備	〈満足度〉89.5% ・満足 42.1% ・やや満足 47.4% ・やや不満 5.3% ・不満 5.3% (参考) ・無回答 0.0%	〈満足度〉79%	〈満足度〉90.2% ・満足 41.9% ・やや満足 48.3% ・やや不満 9.6% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 0.0%	S	(要望への対応) オンライン研修等 普及にあわせ、イン ターネット通信環境 は全部屋でご利用 できるよう整備済み である。LANケーブ ルやWi-Fiルーター 貸出(無料)も行っ ている。 各研修室の音響 機器や映像機器の 取替修繕を進めて いるところ。 (自己評価) 施設整備につい て、約9割の利用者 から高評価を受けて いるが、付属品や備 品の中には長年使 用している設備もあ るため、不具合が発 生した場合は、利用 者に満足いただける 利用環境ではない ので、適宜設備の状 態を確認し、必要に 応じて予算内で購 入や修理を行う。	建物・設備共に経年 劣化がみられるため、 改善要望や故障等に 対しては適切に対応す る。
				〈改善要望〉 ・Wi-Fi完備が望ましい。 ・マイクのへこみが激しい。スクリーン の傷や変形がある。 ・プロジェクターの画質、iPadと繋い だ際、繋がらないことが多い。 ・506教室に畳がほしい。 ・403研修室の鍵が壊れている。			

利用条件	①申請方法・申請期間 〈満足度〉47.4% ・満足 23.7% ・やや満足 23.7% ・やや不満 5.3% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 47.4%	①申請方法・現状のままで良いとする割合 52.5%	①申請方法 〈満足度〉91.9% ・満足 35.5% ・やや満足 56.4% ・やや不満 6.4% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 1.6%	S	(要望への対応) 利用者にはネット環境を利用した申込が難しい高齢者や障害者もいるため、現在は電話と窓口での申請に限っているが、同要望は以前にも挙がっていたため、多くの利用者にとって申請しやすい方法などについて検討する。 また、団体印の省略について沖縄県に確認し検討する。	公平性を確保するため、条例・要綱に沿った利用条件や申請方法などとする。 手続等の方法については、ホームページや窓口にて丁寧に説明する。
	②開館日や時間 〈満足度〉50.0% ・満足 23.7% ・やや満足 26.3% ・やや不満 2.6% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 47.4%	②開館日や時間 〈満足度〉80%	②開館日や時間 〈満足度〉91.8% ・満足 35.4% ・やや満足 56.4% ・やや不満 6.4% ・不満 0.0% (参考) ・無回答 1.6%			
			〈改善要望〉 —	S		
自主事業	※センター入居団体連絡会等の開催により、情報共有及び意見・要望等の集約を図っている。	※センター入居団体連絡会等の開催により、情報共有及び意見・要望等の集約を図る。	※センター入居団体連絡会等の開催により、情報共有及び意見・要望等の集約を図っている。	A	(自己評価) 入居団体連絡会により、センター運営の充実に向けた意見交換を行うことができた。	入居団体の意向を踏まえながら、自主事業の実施を進める。 周辺の福祉関連施設・事業所や自治会等と連携し、自主事業の実施を進める。
			〈改善要望〉 —			
総合評価 (各評価項目の平均)	今後も当施設を利用したいと思う割合 ・利用したい 81.6% ・どちらともいえない18.4% ・利用しない 0.0% (参考) ・無回答 0.0%	今後も当施設を利用したいと思う割合 83.5%	今後も当施設を利用したいと思う割合 76.9% ・利用したい 76.9% ・どちらともいえない4.6% ・利用しない 0.0% (参考) ・無回答 13.8%	評価 (②満足度)	(自己評価) 約8割の利用者に今後も利用したいと回答いただいた。昨年度と比較するとその割合が減ったが、無回答が約2割ある。 より一層利用者の声に耳を傾け、アンケートでは把握できない要望や経年劣化している設備等の計画的な修理や購入などを行い、利用者の要望に応じていく必要がある。	利用者の利便性向上、安全面・衛生面の維持に一層努め、魅力ある施設づくりに取り組む。
				A		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

Ⅱ．サービスの質の確認・評価 取組改善案	今回のアンケートを受け止め、普段窓口対応時にお伺いする利用者の声やアンケート内容、その他の要望に対して、適切に対応し、サービスの質や音響・映像設備の改善など研修環境の向上を図っていく。また、記述式回答とweb回答を併用したアンケートを活用し、かつ、よりご利用者の声を拾えるよう通年で実施する。
-------------------------	--

※「Ⅱ．サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度（ $\alpha + 1$ 年度）の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和5年度実績 (円)	事業計画(当初) (円)	令和6年度実績 (円)	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	利用料収入	27,908,189	26,933,000	27,763,387	99.5%	103.1%	
	その他収入(コピー機使用料等)	251,947	240,000	224,054	88.9%	93.4%	
	計	28,160,136	27,173,000	27,987,441	99.4%	103.0%	
指定管理料		79,224,000	79,224,000	79,224,000	100.0%	100.0%	
自主事業収入	—	0	0	0	0.0%	0.0%	
	計	0	0	0	0.0%	0.0%	
合計(A)		107,384,136	106,397,000	107,211,441	99.8%	100.8%	
〈現状分析・課題〉 令和6年度は、前年度に比べ減免額が多く利用料収入減へとつながった。							

(2) 支出

支出項目		令和5年度実績 (円)	事業計画(当初) (円)	令和6年度実績 (円)	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
①人件費		18,777,414	20,805,000	20,376,566	108.5%	97.9%	人件費増のため
給与等		13,895,498	15,451,000	15,390,979	110.8%	99.6%	
手当等		1,627,351	2,032,000	1,942,977	119.4%	95.6%	
法定福利費(社会保険料)		2,603,205	2,671,000	2,514,250	96.6%	94.1%	
退職手当引当金		651,360	651,000	528,360	81.1%	81.2%	
②運営費		78,473,247	83,341,000	83,344,580	106.2%	100.0%	
報償費		0	0	22,000	0.0%	0.0%	入居団体連絡会に係る手話通訳派遣費用支出のため増
旅費		5,520	0	1,000	18.1%	0.0%	
需用費		28,751,315	33,515,000	33,589,228	116.8%	100.2%	
食糧費		13,000	30,000	24,000	184.6%	80.0%	
消耗品費		2,143,910	2,353,000	4,421,540	206.2%	187.9%	ライブラリー書庫、煙感知器、ライト等購入のため増
燃料費		0	0	0	0.0%	0.0%	
印刷製本費		177,924	292,000	163,105	91.7%	55.9%	
光熱水費		26,416,481	30,840,000	28,980,583	109.7%	94.0%	
役務費		852,323	606,000	588,554	69.1%	97.1%	
通信運搬費		162,029	197,000	201,465	124.3%	102.3%	
広告料		0	0	0	0.0%	0.0%	
手数料(役務費)		456,034	174,000	152,829	33.5%	87.8%	R5に音響スポット点検、システム改修実施のため
施設賠償責任保険料等		234,260	235,000	234,260	100.0%	99.7%	
自動車損害保険料		0	0	0	0.0%	0.0%	
ボランティア保険料		0	0	0	0.0%	0.0%	
委託料		44,928,505	46,238,000	45,669,834	101.7%	98.8%	
建築・設備管理		18,102,480	18,645,000	18,645,000	103.0%	100.0%	
清掃管理		15,015,000	15,586,000	15,585,834	103.8%	100.0%	
警備保安		8,720,275	9,110,000	9,110,000	104.5%	100.0%	
塵芥処理		1,082,400	1,089,000	1,089,000	100.6%	100.0%	
舞台装置点検保守		418,000	418,000	418,000	100.0%	100.0%	
電話設備保守		396,000	396,000	396,000	100.0%	100.0%	
廃棄物回収処理委託		396,000	107,000	0	0.0%	0.0%	R5に草木処理・回収作業実施のため
システム保守料		677,350	746,000	360,000	53.1%	48.3%	
床面ワックス掛け委託料		66,000	70,000	66,000	100.0%	94.3%	
グリストラップ(油脂分離装置)清掃委託		33,000	49,000	0	0.0%	0.0%	
緊急避難車(キャリダン)保守		22,000	22,000	0	0.0%	0.0%	
飲料水一般細菌検査委託		0	0	0	0.0%	0.0%	
樹木枝葉選定委託		0	0	0	0.0%	0.0%	
使用料及び賃借料		899,084	894,000	426,684	47.5%	47.7%	PC再リースのため減
備品購入費		0	0	396,880	0.0%	0.0%	音響機器購入のため増
負担金		0	0	0	0.0%	0.0%	
公租公課費(収入印紙のみ)		52,400	50,000	120,800	230.5%	241.6%	
公租公課費(消費税等)		2,984,100	2,038,000	2,529,600	84.8%	124.1%	
車両費		0	0	0	0.0%	0.0%	
③施設修繕費		2,341,302	2,251,000	1,318,843	56.3%	58.6%	R5に室外機やハンドドライヤー等修繕が重なったため
④繰入金支出		7,792,173	0	2,171,452	27.9%	0.0%	
合計(B)		107,384,136	106,397,000	107,211,441	99.8%	100.8%	

〈現状分析・課題〉 令和6年度は光熱費や業者委託費等が増えており、今後も増える可能性が高い。さらに、耐用年数を超える設備・機材等が増えているため、取替や修繕にかかる費用を継続的に確保する必要がある。
--

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和5年度実績	事業計画(当初)	令和6年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))	0	0	0	0.0%	0.0%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	26.2%	25.5%	26.1%	99.5%	102.2%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	17.5%	19.6%	19.0%	108.7%	97.2%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	41.8%	43.5%	42.6%	101.8%	98.0%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	534.4	524.3	485.6	90.9%	92.6%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	394.3	390.4	358.8	91.0%	91.9%	

〈現状分析・課題〉 令和6年度は前年度に引き続き、安定的な施設利用があったことに加え、第5～7会議室を生活福祉資金特例貸付事業の事務所として常時貸出したため、一定の利用料収入があった。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A	【評価基準（③財務状況）】 収益率（事業収支／収入合計） A： 0%以上 B： -5%以上、0%未満 C： -5%未満
-----------	---	---

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	財務状況の安定性を確保するためには、利用料金の改定見直しを検討し収入の確保に取り組む必要がある
------------------------	---

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

Ⅳ. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和7年度	令和8年度年度	令和9年度	令和10年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	222,995	225,224	227,476	229,750	前年度(R6)実績に毎年度1%増で設定
	②満足度	満足度 (今後も当施設を利用したいと思う割合)	77.6%	78.3%	79.0%	79.7%	前年度(R6)実績に毎年度1%増で設定
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	収支が均衡するよう0%で設定

2. 評価結果

評価項目		評価指標	令和5年度 実績	事業計画 (目標値)	令和6年度 実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	令和7年 度 目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	200,934	202,943	220,788	109.9%	108.8%	令和6年度は施設稼働率は前年度とあまり変動がなかったが、利用者数は109.9%増加しており、適正に運営できている。	A (10点)	稼働率向上に向けた取組として、インターネット環境が整備されたことで集合型とオンラインのハイブリット研修を実施可能であることなどを、ホームページや広報誌、パンフレットを活用して周知する。	222,995
	②満足度	満足度 (今後も当施設を利用したいと思う割合)	81.6%	83.5%	76.9%	94.2%	92.1%	今後も当施設を利用したいとの回答が減少しているため、今後も利用者の要望に適切に対応し、サービスの質の向上を図る必要がある。	A (10点)	経年劣化などにより、音響機器や映像機器など研修設備の不調が多々発生すると、満足度の低下につながることから、研修設備の点検や修繕、更新などを適宜行い、良好な研修環境の整備を行う。	77.6%
財務指標	③財務状況	収益率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	令和6年度は休館期間がなく、1年を通して安定した貸館を実施することができた。 仮予約し長期間正式な申請をあげず結果利用しないことで他団体の利用に影響がでないよう2週間以上正式な申請がもらえない団体にはしっかり確認をとる必要がある。	A (5点)	利用料金収入の確保に取り組み、サービスの安定性を確保するため、研修設備等を修繕するために修繕費や消耗品費等の支出見直しを行う。	0.0%
活動指標	④重点取組事項	大規模修繕(30万円以上の修繕)のための施設点検						壁面の劣化や機材の耐用年数超過等、施設の老朽化により、大規模修繕(30万円以上の修繕)が急遽必要となっている。	A (5点)	施設の老朽化による大規模修繕(30万円以上の県負担分)の必要性について、可能な限り使用不可となる前に把握し、随時県に報告する。 県の予算要求時期には、修繕箇所一覧や修繕見積書等を提出できるよう準備する。	適宜、修繕の緊急性や必要性を把握し、適正な予算を確保する。
総合評価		モニタリングの実施結果より、施設の管理運営は適切に行われている。							S (40点)		

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。
※「 $\alpha + 1$ 年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S：110%以上
- A：100%以上、110%未満
- B：80%以上、100%未満
- C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S：90%以上
- A：80%以上、90%未満
- B：70%以上、80%未満
- C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A：0%以上
- B：-5%以上、0%未満
- C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S：目標を大きく上回る
- A：目標を概ね達成
- B：目標を下回る
- C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

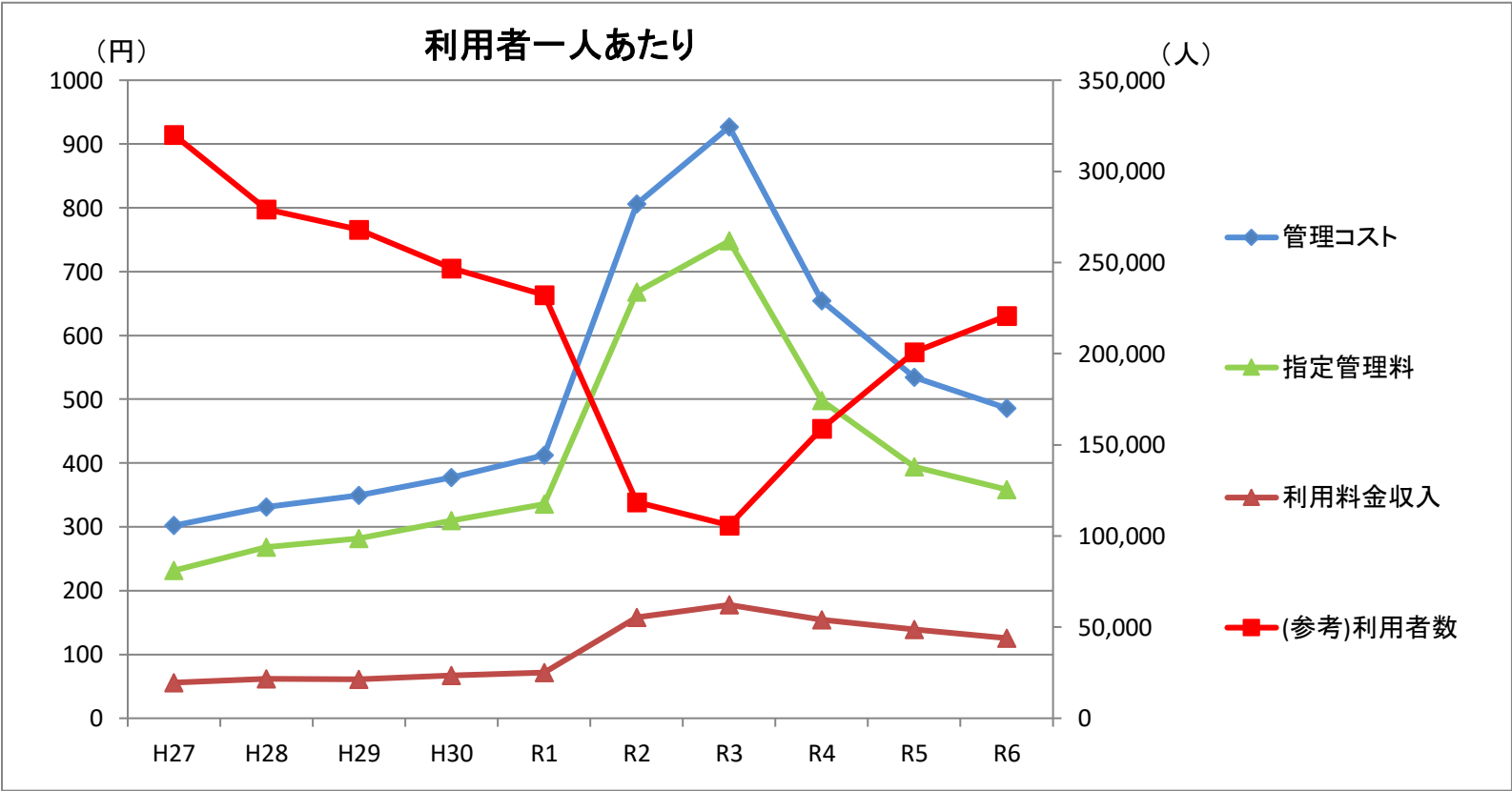
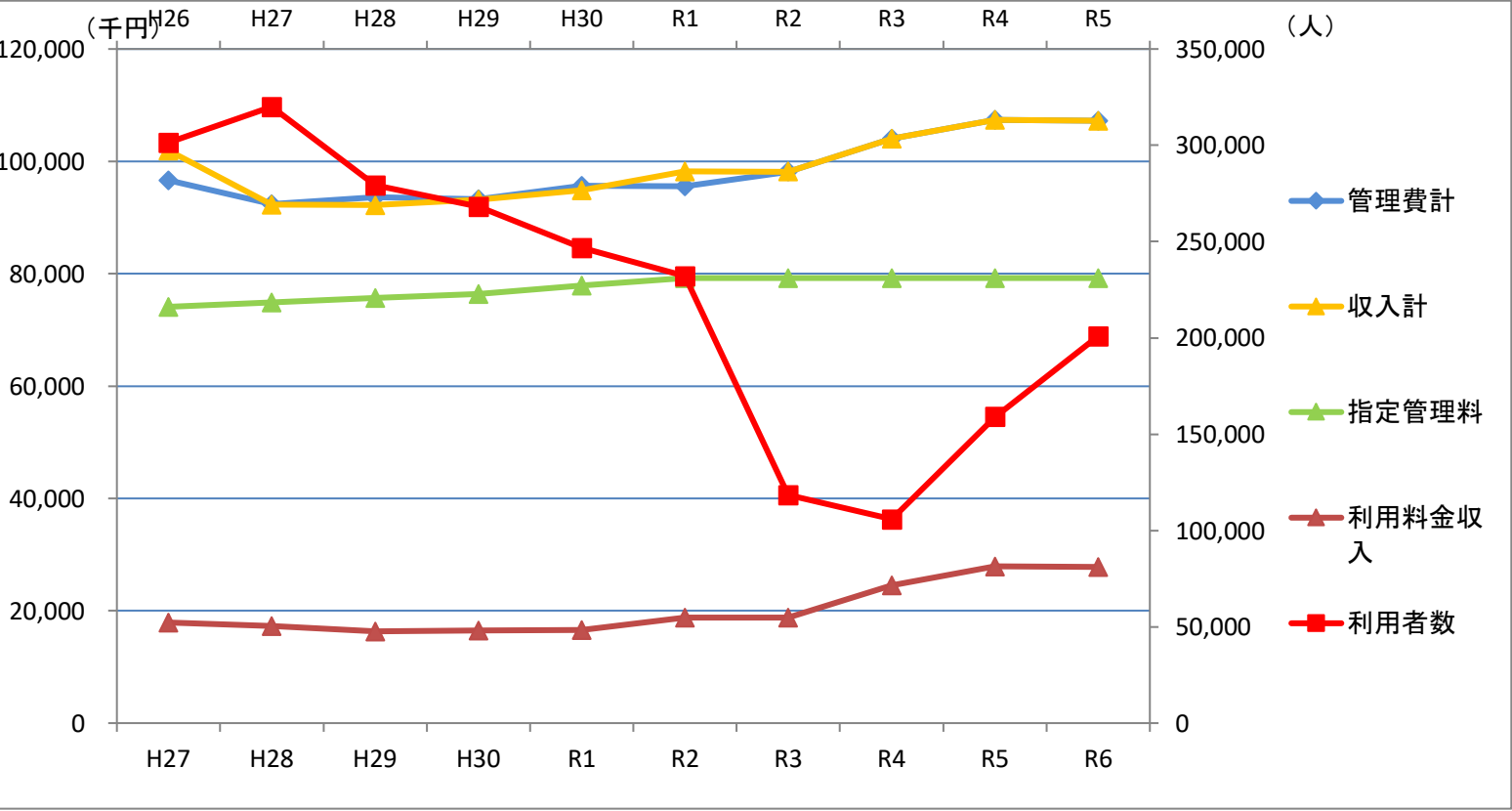
【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:沖縄県総合福祉センター】

指標			単位	直営	指定管理																				
				H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
成果指標	利用者数	目標	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160,620	202,943	202,943	225,224
		実績	人	117,663	134,429	207,525	220,476	208,051	244,643	225,576	240,452	275,524	301,391	320,002	279,171	268,159	246,856	232,089	118,544	105,904	159,030	200,934	220,788		
		目標比	%																			125.1%	108.8%		
		H17比	%		114%	176%	187%	177%	208%	192%	204%	234%	256%	272%	237%	228%	210%	197%	101%	90%	135%	171%	188%		
財務指標	指定管理料		千円							74,048	74,111	74,899	77,849	74,106	74,878	75,650	76,422	77,909	79,224	79,224	79,224	79,224	79,224		
	県負担割合(指定管理料／管理費計)		%							88.7%	84.4%	85.4%	79.0%	76.7%	81.0%	80.8%	82.0%	81.5%	82.9%	80.7%	76.1%	73.8%	73.9%		
	利用料金収入		千円							12,395	13,183	16,453	17,655	17,888	17,251	16,335	16,515	16,601	18,773	18,822	24,499	27,908	27,763		
	利用料金比率(利用料金収入／収入計)		%							14.0%	14.7%	18.0%	16.3%	17.5%	18.7%	17.7%	17.7%	17.5%	19.1%	19.2%	23.5%	26.0%	25.9%		
	収入計		千円							88,586	89,397	91,467	108,241	101,937	92,262	92,227	93,138	94,878	98,182	98,170	104,042	107,384	107,211		
	管理費計		千円							83,451	87,814	87,719	98,483	96,634	92,393	93,592	93,235	95,636	95,574	98,170	104,042	107,384	107,211		
	収支		千円							5,135	1,583	3,748	9,758	5,303	△ 131	△ 1,365	△ 97	△ 758	2,608	0	0	0	0		
	収益率(収支／収入計)		%							5.8%	1.8%	4.1%	9.0%	5.2%	−0.1%	−1.5%	−0.1%	−0.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	/単位	一人あたり管理コスト	円							370	365	318	327	302	331	349	378	412	806	927	654	534	486		
		一人あたり指定管理料	円							328	308	272	258	232	268	282	310	336	668	748	498	394	359		
		一人あたり利用料金収入	円							55	55	60	59	56	62	61	67	72	158	178	154	139	126		

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和6年度	利用者数は増加しているが、減免額の影響で利用料収入は減となっている。 生活福祉資金特例貸付事業の実施による継続した借用があり収入が安定している。
令和5年度	感染症対策の緩和などにより、前年度と比較して稼働率はあまり変わらないが、利用者数が大きく増加している。安定した施設利用と空調設備更新工事に伴い、光熱費支出が抑えられたことで利用料金収入も増となっている。利用料金収入の増については、前年度に引き続き生活福祉資金特例貸付事業の実施による借用が継続していることが要因となっている。
令和4年度	コロナ関連の各種規制緩和が進み、施設の利用が増えることに伴い、利用者数と利用料金収入も増となっている。利用料金収入の増については、前年度に引き続き生活福祉資金特例貸付事業の実施による借用が継続しているほか、空調設備更新工事の現場事務所設置による結ブラザの借用があったことが要因となっている。
令和3年度	利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響等があり前年度より減少しているが、利用料金収入は生活福祉資金特例貸付事業の実施により、借用が継続しているため微増となっている。
令和2年度	利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響等があり前年度より大幅に減少しているが、利用料金収入は生活福祉資金特例貸付事業の実施により、継続した借用があり、微増となっている。